

第3回 重信川堤防調査委員会

議事要旨（案）

1. 日 時：平成30年5月31日（木）13:00～15:00
2. 場 所：松山河川国道事務所 2階 第1、2会議室
3. 出席委員
 : 委員長
 鈴木 幸一（愛媛大学名誉教授）
 委 員
 岡村 未対（愛媛大学大学院理工学研究科教授）
 佐々木 哲也（国立研究開発法人土木研究所上席研究員）
 諏訪 義雄（国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究室長）
4. 議事概要
 - ・第3回委員会では、第2回委員会での指摘事項を踏まえて、現時点での検討結果から分かったことについて事務局から説明してもらい、堤防漏水のメカニズムと対策方針について議論した。
《第二回委員会での指摘事項の対応方針について》
 - ・堤防の寺勾配化について、過去の測量結果を確認し、いつ頃から現在の形状になっているかを把握するとともに、どのような地盤の状態の箇所です勾配化しているのかについて把握することを事務局にお願いした。
《被災14区間の代表断面による堤防漏水と被災メカニズムの概要》
 - ・要因分析において、降雨を入力しない解析を行い、降雨の影響を確認することを事務局にお願いした。
《被災14区間での漏水対策方針について》
 - ・漏水対策方針は妥当と考えるため、この方針をもとに検討を進めることを事務局にお願いした。